

令和2年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,090	4,920	△ 171	(注1)
施設整備費補助金	200	658	459	(注2)
補助金等収入	286	339	53	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	0	
自己収入	2,358	2,234	△ 124	
授業料、入学金及び検定料収入	2,280	2,165	△ 115	(注4)
雑収入	78	69	△ 9	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	746	629	△ 116	(注6)
引当金取崩	-	-	-	(注7)
目的積立金取崩	140	41	△ 99	(注8)
計	8,841	8,842	1	
支出				
業務費	7,588	6,805	△ 784	(注9)
教育研究経費	7,588	6,805	△ 784	
施設整備費	221	679	459	(注10)
補助金等	286	217	△ 69	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	746	578	△ 167	(注12)
計	8,841	8,279	△ 562	
収入-支出	0	563	563	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、計画時に見積もっていた前年度からの繰越額以外に、次年度への繰越額が発生したことに伴い、予算額に比して決算額が171百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部について交付年度が翌年になったこと、また、計画時では予定していなかった国への補助金の返還になったことに伴い、予算額に比して決算額が459百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、計画時では予定していなかった補助金の獲得に伴い、予算額に比して決算額が53百万円多額となっています。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が103百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として当初の見込より志願者数及び入学者数が少なかったことに伴い、予算額に比して決算額が115百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主としてコロナ禍で講義室の貸付を控えたことに伴い、予算額に比して決算額が9百万円少額となっています。
- (注6) 産学連携等収入及び寄附金収入等については、主として計画時に見積もっていた産学連携収入が当初の予定より減少したことに伴い、予算額に比して決算額が116百万円少額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、該当ありません。
- (注8) 目的積立金取崩については、当初予定していた教育研究環境整備事業の計画変更等により、目的積立金の取崩額が減額となったため、予算額に比して決算額が99百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことに伴い、予算額に比して決算額が784百万円少額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が459百万円多額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が69百万円少額となっています。
- (注12) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が167百万円少額となっています。